

公立豊岡病院組合立豊岡病院
出石医療センター
公的医療機関等2025プラン

平成29年 12月 策定

【2. 今後の方針】 ※1. ①～④を踏まえた、具体的な方針について記載

① 地域において今後担うべき役割

出石医療センターは、出石・但東地域唯一の病院として、住民の多様な病状の診断及び治療を行うため、プライマリケア（総合診療）を中心に地域医療を支えており、今後も継続する。

また、救急告示病院として、豊岡病院と機能分担しながら2次救急まで受け入れを行う。

② 今後持つべき病床機能

豊岡病院の後方支援病院として、高度急性期・急性期治療の終了した患者を受入れ、回復期治療を提供する。

また、但馬地域の在宅復帰支援の中核を担うため、地域包括ケア病床を活用した治療及び支援を行い、レスパイト入院についても、積極的に受け入れる。

③ その他見直すべき点

- ・ 出前講座の拡充
- ・ 医師の安定的確保及び取組み
- ・ 近隣の介護、福祉関係者との連携強化
(引き続き、院内勉強会を継続的に開催し情報共有を図る)

【3. 具体的な計画】 ※2. ①～③を踏まえた具体的な計画について記載

① 4機能ごとの病床のあり方について

<今後の方針>

	現在 (平成28年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期		→	
急性期	55床		
回復期			55床
慢性期			
(合計)	55床		55床

② 診療科の見直しについて

<今後の方針>

	現在 (本プラン策定時点)		将来 (2025年度)
維持	内科、外科、整形外科、皮膚科、 リハビリテーション科、放射線科	→	現状を維持
新設			
廃止			
変更・統合			

【4. その他】

出石医療センターは、常勤医師3名(内科2名、外科1名)と、出張応援医師で運営している。
許可病床数55床に対し、医師が不足しているため、現在は39床で運用しており、医師の確保が最大の課題である。